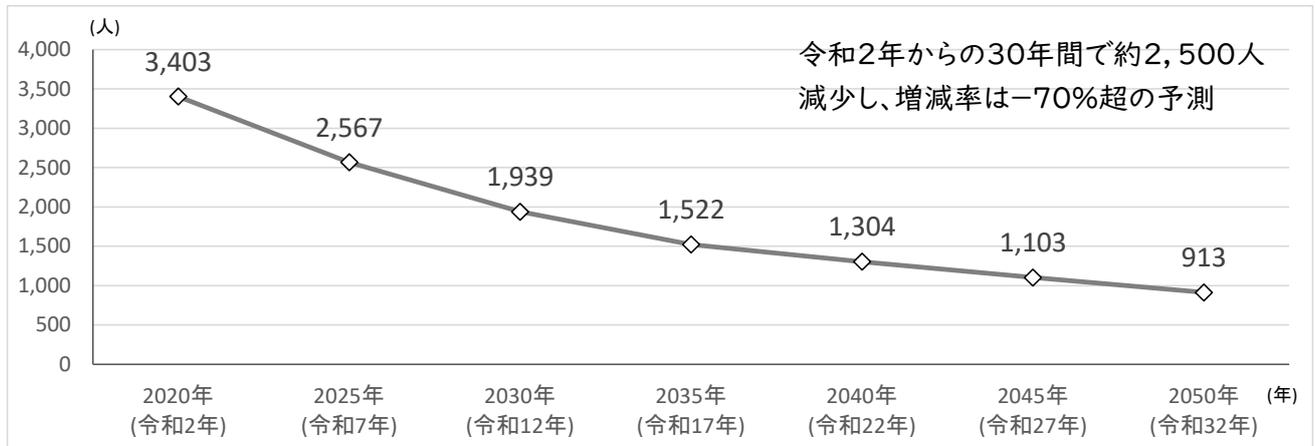


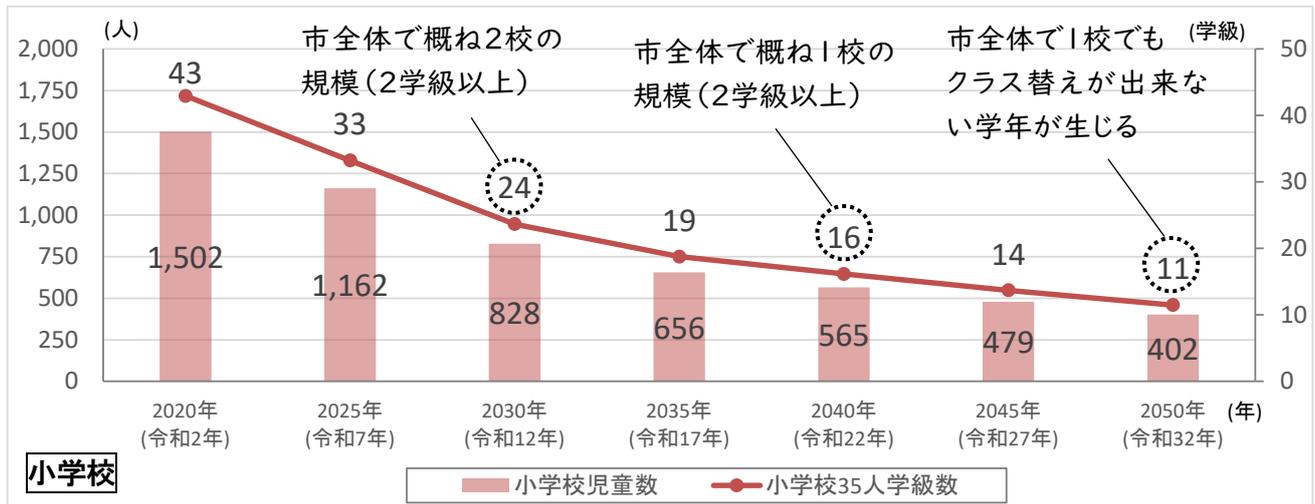
アンケート調査票の回答にあたっての参考資料

参考資料1. 0歳から14歳人口の将来推計（稲敷市）

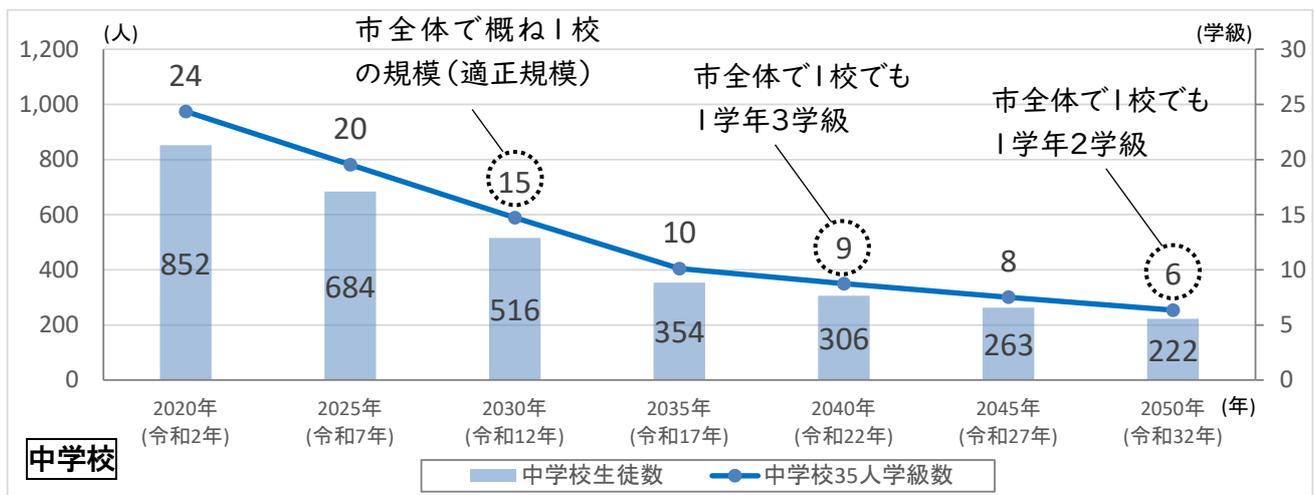


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

参考資料2. 市立小中学校の児童生徒数と35人学級数の将来推計



小学校



中学校

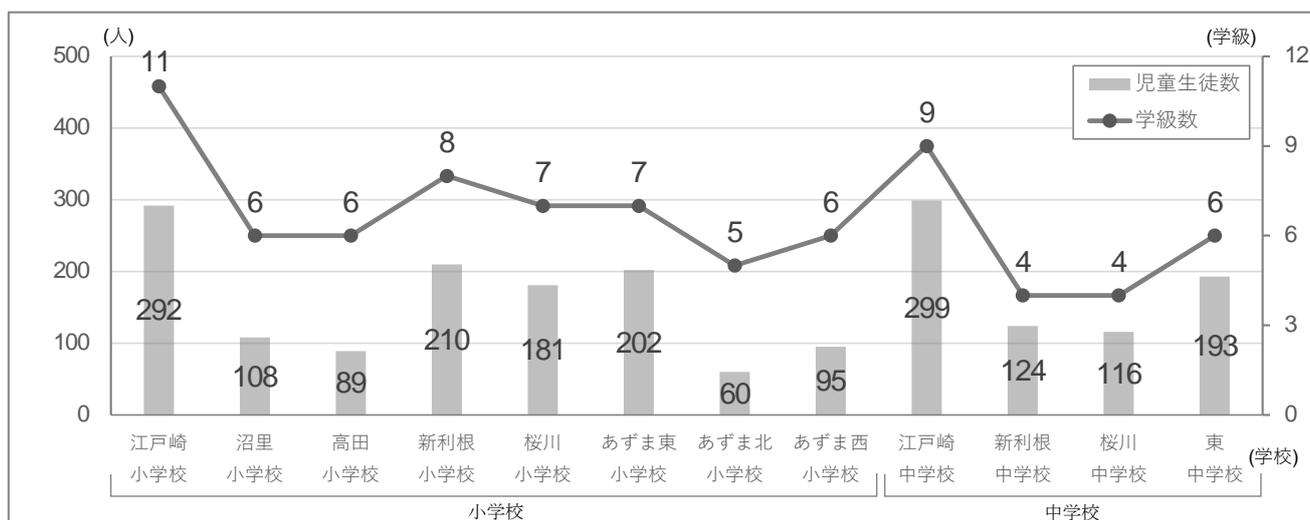
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

※1：2020年は国勢調査による実績値となっている。

※2：参考資料2は、社人研5歳階級別人口データを国勢調査（R2）の1歳階級別（男女）の人口比率で按分して算出した人口（1歳ごと）で児童（6-11）と生徒（12-14）を出している。

※3：小中学校の適正規模校：12～18学級（小学校は文科省・茨城県・稲敷市の基準・中学校は文科省の基準）

参考資料3 小中学校ごとの児童生徒数及び学級数（令和6年度）



参考資料4 国・県・市の学校の適正規模の範囲（問1、3、4の参考資料）

	小学校	中学校
国	1 2 学級（各学年 2 学級）以上 1 8 学級（各学年 3 学級）以下	1 2 学級（各学年 4 学級）以上 1 8 学級（各学年 6 学級）以下
茨城県	1 2 学級（各学年 2 学級）以上	9 学級（各学年 3 学級）以上
稲敷市	1 2 学級（各学年 2 学級）以上	—

参考資料5 複式学級を編制する児童生徒数の標準（問3・4の参考資料）

複式学級とは、2つ以上の学年を1つに編制した学級のこと		
小学校	連続する2学年の児童数が16人以下 (1年生を含む場合は8人以下)	(例) 小学校3・4年生の場合 3年生(8人) + 4年生(8人) → 合計が16人の場合 複式学級になる
中学校	連続する2学年の生徒数が8人以下	3年生(9人) + 4年生(8人) → 合計が17人の場合 複式学級にならない

参考資料6 各小学校区における地区の内訳

小学校区名	地区名
江戸崎	江戸崎、犬塚※、稲波、上君山、下君山、松山、羽賀※、村田、沼田※、佐倉、鳩崎、信太古渡、高田※
沼里	小羽賀、時崎、蒲ヶ山、月出里、沼田※、犬塚※、羽賀※
高田	高田※、椎塚、駒塚、桑山、南ヶ丘
新利根	上根本、下根本、柴崎、戌渡、伊崎、狸穴、伊佐津、南太田、中山、角崎、太田、下太田、寺内、小野、堀川
桜川	阿波、甘田、四箇、南山来、須賀津、神宮寺、浮島※、西の洲、下馬渡、上馬渡、三次、飯出、岡飯出、古渡、柏木、柏木古渡、羽生、堀之内
あずま東	結佐、西代、飯島、佐原下手、上之島、石納、上須田、八千石、八筋川、境島、三島、大島、本新、余津谷、清久島、橋向、押砂、神崎本宿、曲渕、四ツ谷、六角、佐原組新田、手賀組新田、神崎神宿、浮島※
あずま北	伊佐部、阿波崎、下須田、釜井
あずま西	幸田、光葉、中島、脇川、福田、市崎、町田、東大沼、清水、新橋

※印のある地区は学区がまたがっている地区です。